

## 会議の経過

川野課長	<p><b>1 開会</b></p> <p>皆様、こんにちは。定刻となりましたので、只今から令和3年度第1回大井町総合教育会議を開催いたします。私は、本日、司会を務めます総務課長の川野と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、本日の会議につきましては会議録作成のため録音させていただきますことを御了承いただきたいと思っております。それでは早速、次第に沿って進めさせていただきます。</p> <p>「次第2 町長あいさつ」 小田町長よろしくお願いいたします。</p>
小田町長	<p><b>2 町長あいさつ</b></p> <p>皆様、こんにちは。日頃は、町の教育行政に御尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、本日は、今年度、第1回の総合教育会議に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>さて、新型コロナウイルス感染症の影響は、本町においても、行政運営に大きな影響をもたらすだけでなく、町の将来を担う子どもたちの教育環境や生活環境にも影響をもたらしたものと思っております。</p> <p>そこで本日は、「コロナ禍における子どもの生活」と、「要保護児童の現状と対応」について協議いたします。</p> <p>教育委員の皆様には、活発な御意見を頂けますようお願いするとともに、私も皆様の御意見に耳を傾けてまいりますので、何卒、これまで同様、お力添えを賜りますようお願いいたします。限られた時間ではございますが、忌憚のない御意見をお聞かせくださるようお願いいたします。私からのあいさつといたします。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
川野課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>さて、本日の出席者につきましては、御手元に配布させていただいた次第の裏面でございます「出席者名簿」のとおりとなっております。本日は、全員の出席をいただいておりますので、この場を借りて御報告させていただきます。</p> <p>それでは、「次第3 協議・調整事項」に移ります。大井町総合教育会議運営要綱第2条第1項の規定により、議長は町長となりますので、これからの進行は小田町長にお願いいたします。</p>
小田町長	<p>それでは、私が議長を務めさせていただきますが、会議の性格上、私からも意見を述べさせていただくことがあろうかと思っておりますので、予め御了承ください。</p>

	<p>それでは（１）「コロナ禍における子どもの生活」について協議したいと思います。新型コロナウイルスへの対応は長期化し、また新型コロナウイルスの影響により子どもたちの教育環境だけでなく生活環境にも変化があったものと思います。そのため、子どもたちの学校生活等について、町部局と教育部局が情報共有をして引き続き対応することが重要だと考えております。</p> <p>まずは、説明者から要点に触れて説明をお願いします。</p>
大川指導主事	<p><b>3 協議・調整事項</b></p> <p><b>(1) コロナ禍における子どもの生活</b></p> <p>(※パワーポイントで、コロナ禍における子どもの学校生活等について説明をした。)</p>
小田町長	<p>それでは、ただ今の説明を受けまして、この件について詳しく聞きたいことや質問などがありましたら御発言いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
小嶋委員	<p>学校における感染症対策として、給食は黙食かつ前を向いて食べる、おかわり等についても先生が対応されているとのことですが、特に小学生は向かい合って楽しく食べることで、苦手な食べ物が食べられたり、食事の量が増えたりと、プラスの面があったものと思いますが、食事スタイルが変わったことで給食の残量等にも変化があったのでしょうか。</p>
大川指導主事	<p>楽しかった給食の時間が黙食にせざるを得ない状況になってしまったことは残念なことだと思います。給食の残量については、御意見を踏まえて状況を確認させていただきます。</p>
夏苺教育長	<p>今の件についてですが、残量が増えたという話は出ていないと思います。ただ、実際のところはどうかという確認はしていません。幼稚園の例ですが、栄養士さんが足繁く通い、配膳の状況や子どもたちの食べている様子などを見て対応しているとの報告は受けています。</p>
小田町長	<p>子どもたちの反応はどうでしょうか。不満等の声は出ているのでしょうか。</p>
大川指導主事	<p>実態としてはゼロというわけではないと思いますが、特段そのような話は聞いていません。先生方の話を聞くところでは、「子どもたちは我慢している状況は見受けられるけれども、今ある現状というものを受け止めている様子がうかがえる」という話を聞いています。ただ、</p>

小島委員	<p>それは“我慢している”ということが前提にあるとは思いますが。</p> <p>学校における感染症対策ということで、先生方の仕事がお忙しい中、感染防止ということで毎朝健康観察をしっかり行ったり、子どもたちの机や椅子などを消毒されたり、密にならないように机と机の間隔をあけたりとしっかりと対策をしていただいたおかげで感染が防げたものと感謝しております。これだけ先生方が御苦労されているにもかかわらず、保護者が感染症に対して神経質になり、またテレワークということもあって、子どもを学校へ行かせずに家庭で面倒を見られたという御家庭はあったでしょうか。</p>
大川指導主事	<p>感染症が不安で自宅待機を選ばれた御家庭があったことは把握しています。</p>
夏苺教育長	<p>今の件ですが、学校のほうからは何件か報告を受けています。御家庭によっては緊急事態宣言が一つの拠り所となっている感じを受けました。なお、欠席をされている子どもに対しては、課題を提示して対応しています。</p>
夏苺教育長	<p>今の件に関連して、いわゆるオンライン授業についてですが、どうしたら実施できるかということのを学校とも協議して模索しています。</p> <p>一つには学校の授業を生配信したらどうかという提案をしました。その提案に対して学校も試みていただきましたが、黒板が上手く映らなかったり、声が拾えなかったりと中々上手くいかないようです。そうした中で、先生方には負担をなるべくかけないようにしながらも、学習の在り方をどうしたらいいかということのを試行錯誤している状況でございます。</p>
小田町長	<p>色々と工夫されていることは理解しました。子どもたちが家にいながらも教室にいるかのような授業を受けられるというのが理想だと思います。ハード整備をしてきているところではありますが、技術的な面ではいかがでしょうか。</p>
石井課長	<p>GIGA スクール構想のこれまでの流れを見ていきますと、学校の中の設備を充実させるというところから、コロナ感染症への対応により、学校の外をいかにしていくかというところにシフトしてきました。</p> <p>学校の中では、どこでもネット環境につながるように整備をほぼ完了していますが、次は各御家庭といかにしてつないでいくかというところで、端末や通信速度などの課題が生じるものと考えます。</p>

	<p>また、授業についても、ただライブ配信をするだけでなく、子どもたちのことを考えると、もう少し手を加えることも必要かと思います。技術的には不可能ではないと思いますが、教育長からも話があった通り、先生方に負担をかけないということや、子どもたちにとって良い学習環境をどのように構築するかという点を考えると、まだまだ研究が必要であると考えます。</p>
中 條 委 員	<p>子どもたちは配布されたタブレットの持ち帰りが可能になっているのでしょうか。状況によってでしょうか。</p>
大川指導主事	<p>現状としては、9月に子どもたちにタブレットを持ち帰ってもらい、各御家庭のWi-Fi環境につながるかどうかの調査をしました。 しかしながら、平時からタブレットを持ち帰って宿題をやってもらうという状況にはありません。</p>
中 條 委 員	<p>コロナの感染状況がどうなるか不確定ですが、将来的には子どもたちがタブレットを持ち帰って学習をするという場面が増えていくことが考えられます。一方で、貸し出されたタブレットでYouTubeを楽しむというようなことも考えられ、タブレットの利用にあたっては管理したり運用するルール作りが必要と感じます。先生方にルール作りを任せるのではなく、サポートする体制がとれると良いなと思います。</p>
大川指導主事	<p>タブレットの導入にあたり、町としての活用ルールは作成しました。あわせて、御指摘のあったYouTubeの動画は、個々のアカウントにセキュリティがかけられているので、家庭でネット環境につないでもそういった動画を見ることは出来ないようになっています。 しかしながら、活用にあたっては様々なケースが出てくることも想定されるので、学校と協議しながら対応していきたいと思います。</p>
石 井 課 長	<p>今の件に関して、タブレットのチャット機能によりいじめにつながったというニュースがありました。全国の自治体では、いかに早くタブレットなどを整備するかということに必死になっていましたが、導入が進むにつれ、様々な問題、課題が挙がってきました。情報モラル教育も進めていきますが、問題、課題への対応は、学校側だけでなく、行政も関わらなければ解決できないことだと考えますので、町側もしっかりと対応していきます。</p>
夏 苺 教 育 長	<p>先週の金曜日に湘光中学校で研究発表会が行われました。多くは足柄上地区管内の先生方が来られましたが、研究発表会の公開授業の中</p>

	<p>で、中学校の先生が板書代わりにタブレットを活用して大型のモニターに映し出す授業をしておりました。子どもたちの新たな学習環境が着々と整備されてきているものと感じたところです。その際、講師として来られていた先生から、「湘光中学校は比較的良好よくタブレットを使っているほうですよ」、「各教室に大型のモニターが整備されているからですね」との御意見もいただいたところです。整備にあたり、小田町長に報告と感謝を申し上げるとともに、発表会の授業を拝見して、大型モニターの活用がもっと進んでいけばライブ配信の授業の構成にもつながっていくもの感じたところです。</p>
中 條 委 員	<p>機器が授業に取り入れられることで子どもたちがノートに書く機会が減るように感じます。個人的には技術が発展しても学校現場の中でおろそかにしてはいけない基礎、基本があるものと感じています。そういったことを忘れないような教育環境を作っていってほしいなと願っています。</p>
牧野教育長職務代理者	<p>タブレット端末の導入により、教える先生方の研修スケジュールはどのようになっているのでしょうか。</p>
大川指導主事	<p>教育委員会主催の事業としては、情報教育担当者会という形で、町内4校の ICT 担当とスキルアップに関しての資料やそうした場の情報を共有しています。また、ICT 支援員が各校に訪問した際に先生方のスキルに合わせて研修会を開催できるように支援員の方と現在調整を進めているところです。</p>
小 島 委 員	<p>子どもたちは学校行事を通じて成長していくという話がありましたが、昨年はコロナ禍で学校行事の多くが中止になったものと感じます。コロナ禍により、行事の意義や開催方法について話し合いがなされているかと思いますが、そのあたりの経験について共有していただきたいと思います。</p>
大川指導主事	<p>昨年度から今年度にかけて学校行事の意義や開催方法については、それぞれの学校で話し合いがなされているものですので、こちらで全て把握してはいませんが、規模を縮小して開催した運動会や行事においては、子どもたちの関わり方も含めてそれぞれ検討がなされたものと思います。</p>
小 嶋 委 員	<p>先日、小学校の運動会が2学年ずつ区切られて開催されました。コロナ禍になる前は、1年生の面倒を6年生がみており、学年や立場が違う</p>

小田町長	<p>子どもが交流することで、心の成長につながるものと思います。行事の縮小により心の成長に影響があるものと感じますがいかがでしょうか。</p> <p>私も小学校に入学した時のことを思い出すと6年生は頼もしく感じて、一方で6年生になると1年生のことを弟や妹のように感じて面倒をみたことを覚えています。コロナ禍においても、そういった感覚を経験できるような場が必要と感じますが、現状も含めていかがでしょうか。</p>
大川指導主事	<p>小学校でいえば、縦割りの掃除班といった取り組みにおいて多学年交流を行ってきまされたけれども、実施できていないのが現状です。小嶋委員からありました1年生に対して6年生が接するという機会は、対面では出来ていませんが、双方の教室のモニターを接続して6年生が新入生の1年生に学校の紹介をするといったことは行っています。対面で接する感覚とは違うかもしれませんが、工夫して出来ることを行っていると学校から聞いています。</p>
小田町長	<p>コロナ禍において苦渋の決断とは感じますが、もとに戻す必要性があるものについては、今後の状況において少しずつ戻すということも選択肢の一つとして検討していくことが必要と感じます。</p>
夏苜教育長	<p>現状はコロナも落ち着いてきておりますが、これまで教育委員会も学校もかなり緊張した時期を送った時期もありました。幸い休校という措置まではいかずに済みましたが、これは学校の教職員の対応もありますが、日ごろからの健康観察等で御家庭における協力があって今日にいたっているものと感じております。そうした中で、今まで当たり前に出ていたことが出来なくなってしまう現状の中で、違った形で工夫して学校も取り組んできておりますので、そういった面で、今後期待していただければと思います。</p>
小田町長	<p>それでは、この件についての協議は、このあたりで終了とさせていただき、次の協議・調整事項に移ります。</p>
小田町長	<p>(2)「要保護児童の現状と対応」について協議したいと思います。これは学校生活とも関連する事項だと思いますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、学校等の休業や外出自粛が続きました。そのような中で、子どもの見守り機会が減少し、児童虐待のリスクが高まったとの報道も見受けられました。そのため、本町の子どもたちの状況や対応について、情報共有をしたいと思います。まずは、説明者から要点に触れて説明をお願いします。</p>

宇佐美社会福祉士	<p><b>(2) 要保護児童の現状と対応</b></p> <p>(※パワーポイントで、要保護児童についての概要と町の現状について説明をした。)</p>
小田町長	<p>それでは、ただいまの説明を受けまして、さらに詳しく聞きたいことや質問などがありましたら御発言いただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
中條委員	<p>虐待の件数の中に、御自身から相談してくるケースがあるのかどうかということと、幼児であれば健診があると思いますが、健診に来られない家庭があるのかどうかということについて、現状をもう少し聞かせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
宇佐美社会福祉士	<p>件数の中には、御家族、親族からの通告経路が7件、近隣から2件、市町村から24件、保育園から9件、幼稚園・学校から5件、児童相談所に20件で、重複している通告もありますが、現状はそういう状況となっております。</p> <p>健診状況につきましては、令和2年度の3・4か月児健診の受診率は98.9%、医療機関で行うお誕生日健診が96.5%、1歳6か月児健診が100%、2歳6か月児健診が99.2%、3歳6か月児健診が99.1%となっておりますが、分母が100人を少し超えるくらいの人件数なので、1人休むと受診率への影響が大きくなります。それを差し引いたとしても受診率は良い方と感じます。</p>
小田町長	<p>健診を受けていない家庭に対するフォローはあるのでしょうか。</p>
宇佐美社会福祉士	<p>度重なる受診勧奨の電話や家庭訪問を行っています。</p>
小田町長	<p>それにより分かったことや改善されたことはありましたか。</p>
宇佐美社会福祉士	<p>最終的には受診していただくこともできた家庭はありましたが、外に出ること自体に抵抗がある御家庭もありました。</p>
小嶋委員	<p>要保護児童の閉止ケースについてですが、改善されたのに復活するというケースもあるということをお聞きしましたが、令和2年度の改善件数の35件について、継続して連絡をとっているというような状況はあるのでしょうか。</p>
宇佐美社会福祉士	<p>いったん閉止してしまうと、連絡をとることがあまりありませんが、子どもの所属先である幼稚園、保育園や学校などでは毎日接しているの</p>

	で気づいた点があれば連絡をもらいます。
小田町長	経済的な問題が虐待の起因となっているケースも多いのでしょうか。
宇佐美社会福祉士	経済的に困窮すると衣食住が回らなくなってしまっていて最終的に水道、ガス、電気といったライフラインが止まってしまっていて保護の対象になる家庭もありました。困窮も虐待につながるケースはあります。
中條委員	相談窓口が挙がっていますが、電話だと敷居が高いと感じられる方もいらっしゃると思います。メールだったら相談しやすいといった、SNS上の相談窓口もあったりするのでしょうか。
宇佐美社会福祉士	神奈川県の方で、LINE相談を行っております。窓口の名刺サイズの大きさの周知案内を配架しています。
小田町長	相談が必要な人に、そのLINE相談があることの周知は行き届いているのでしょうか。
宇佐美社会福祉士	窓口での配架だけでなく、広報にも掲載しております。
夏苺教育長	今月は、児童虐待防止推進月間となっており、教育委員会の方にも県を通じて通知が来ており学校へ周知をしているなかで、学校として早期発見での点検や通告の件、関係機関との情報共有や連携強化、研修の実施など行っていますが、町としてその取組に対する周知は行っていますか。
宇佐美社会福祉士	啓発ということで広報に掲載しておりますし、毎年自治会を通じてポスター掲示も行っています。今年は、配布枚数が少なくて依頼は出来なかったのですが、幼稚園や保育園には「子育てやしつけに困ったら」というリーフレットを配りました。 また、実務者会議がありましたので、教頭先生をはじめ各部署の方にも周知をさせていただきました。
小田町長	虐待の相談について自治会長から情報が入ることはありますか。
宇佐美社会福祉士	自治会長が民生委員に相談をして、民生委員から受けたケースは数件ありました。
小嶋委員	ヤングケアラーについてテレビや新聞で取り上げられていますが、親

宇佐美社会福祉士	<p>の代わりに幼いきょうだいの世話をすることや病気の家族の看病をするといったケースでは、家族なんだからきょうだい等の面倒を見るのは当たり前と感じてしまう場合もあると思います。そうした中で、子ども自身がヤングケアラーに当てはまるということを感じていない、感じられない子どももいるものと思いますが、例えば学校の方からチラシを配るなど子どもに対しての周知は行っているのでしょうか。</p>
中 條 委 員	<p>現状では、具体的な対応は行っていません。今後、国から調査が入ってくると思いますので、その調査における実態数を踏まえた上での支援の検討等をしていくものと考えます。</p>
小 田 町 長	<p>ヤングケアラーをテレビで見たことがあるのですが、全国で4、5%と報道されていた記憶があるのですが、大井町でもこれから国の状況により実態調査をされるということですから今後見えてくる部分があると思います。判断が非常に難しい問題だとは思いますが、子どもの学業に支障を来しているとか子どもらしい生活を送っていないなどといった観点から学校生活において、先生方も忙しいとは思いますが、子どもたちの変わった点やSOSを早期に発見していただきたいなと感じております。</p>
小 田 町 長	<p>それでは意見等も大分出たところですので、この件についての協議は、これで終了とさせていただきたいと思えます。</p>
小 田 町 長	<p>(3)「その他」ですが、教育委員の皆様から、何かこの場で協議の必要がある案件がございましたら、御発言を願いたいのですが、いかがでしょうか。</p>
小 田 町 長	<p><b>(3) その他</b> ※協議事項なし</p> <p>それでは、協議すべき事項が特にないようですので、これで議長の任を解かせていただきたいと思います。貴重な御意見をお聞かせいただき、誠にありがとうございました。</p>
川 野 課 長	<p><b>4 閉会</b></p> <p>長時間にわたる御協議、大変お疲れ様でした。</p> <p>さて、今年度の総合教育会議につきましても、2回目の開催をしたいと考えております。例年ですと2月頃の開催となりますが、期日等が具体的になりましたらお知らせいたしますので、よろしく願い申し上げます。</p> <p>それではこれもちまして、令和3年度第1回大井町総合教育会議を閉会いたします。ありがとうございました。</p>

